

「小樽市ふるさとまちづくり協働事業」 事業報告書

1 / 2

団 体 名	特定非営利活動法人チャレンジサポート北海道			
事 業 名	小樽の街を航空写真と地図で見よう			
実 施 期 間	平成 28 年 12 月 9 日(金)～平成 28 年 12 月 11 日(日)			
事業の目的及び期待する効果	<p>地図や航空写真は、俯瞰的に空間を把握でき、フィールドワークの基礎資料として有用なものである。</p> <p>近年、地図や航空写真はインターネットで簡単に見ることができるようになったが、小さい画面では空間的な広がりを認識しにくい。</p> <p>そこで、本事業では航空写真の大判プリントを中心に、小樽市の地図や航空写真を様々な見せ方で展示し、地図のプロが解説することで、市民や観光客が「小樽の地理・歴史」の理解を深めることを目的とする。</p> <p>地図や航空写真の見方がわかることで、市民がハザードマップのより良い活用ができることから、防災に対する効果が期待でき、地理歴史を学ぶことで小樽の魅力を市民が発信しやすくなる効果も期待される。</p>			
実 施 額	事業費	308,067円	助成額	297,987円
事 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・大判航空写真の展示 [小樽3枚(新規)、札幌2枚(既存作成)] ・国土地理院の地形図の展示 ・A1プロッター出力ポスターを11枚 ・ブースで航空写真のハガキプリントサービス(助成金対象外) 			

○内容が分かる「資料やチラシ等」を添付してください

◎事業の日程について

2 / 2

月日	内容	想定事業効果 (参加人数等)	事業効果 (実績)
12月9日(金)	明治時代から現代までの小樽の地図や海図を展示	—	89人
12月10日(土)	〃	—	75人
12月11日(日)	〃	—	98人
合計		1,000人	262人

◎事業評価について

1. 事業の目的の達成度

本事業は、市民や観光客に地図や航空写真を展示することで、小樽のさらなる発見を見出すことを促すことが出来たと考えている。

2. 参加した方々や、周辺の方々の満足度

来場者の満足度も概ね高く、年代も幅広いことから多くの人に楽しめるイベントであると言える。

3. 今後の事業について

課題としては、目標としていた1000人には及ばなかったことが挙げられる。原因としては、①当日の天候が荒れたこと、②広報活動の遅れ、③会場の立地が立ち寄りづらいなどが考えられる。次回行う場合には改善を考えたい。

今後の展開としては、まず制作物として残った大判空中写真の活用を考えている。具体的には、博物館や小中学校の教育等で利用できる方法を模索したい。制作したデータに関しては、各関係諸機関の許諾を得られれば配布は可能であり、大判空中写真の複製することも可能である。

次年度、再度助成金が採択された場合は、今回のアンケートの要望にもあるとおり、他地域の大判空中写真の制作を考えている。数力年かけて小樽市全域を制作できれば、小樽市の地域学習の素材として活用していけると考えている。

4. 「小樽市ふるさとまちづくり協働事業」に関する要望事項等